

リサイクル・資源循環

国内資源循環体制の構築

- **リサイクル設備導入支援：**
中国等による禁輸対応として、リサイクル設備導入を支援（2018年度補正60億円、2019年度33.3億円）
- **産業界の取組：**
 - 全清飲資源循環宣言（2030年ペットボトル100%有効利用）
 - プラ工連資源循環戦略
 - プラ協資源循環宣言

国際資源循環

- **バーゼル条約改正：**
我が国・ノルウェーの共同提案により、リサイクルに適さない汚れたプラスチックごみをバーゼル条約の規制対象とする附属書改正を採択（2021.1施行）

海洋プラスチックごみ対策

海洋ごみ国内対策

- **海岸漂着ごみ処理支援：**
自治体の海岸漂着物回収・処理を財政支援（2018年度補正31億円、2019年度4億円）
- **漁具・漂流ごみ等対策：**
水産庁と連携し、漁業者による海洋ごみ等の回収・処理を支援
- **マイクロプラスチック対策：**
 - スクラブ製品へのマイクロビーズ削減徹底を業界に要請
 - マイクロプラスチックの実態把握・影響に関する調査研究

国際協力

- **廃棄物管理・リサイクル分野の国際協力：**
技術・制度のパッケージ支援（2019年度9億円の内数（環境省））
- **ASEAN+3海洋プラスチックごみ協力アクション・イニシアティブ：**
3R等による海プラ対策
- **国連環境総会（UNEA4）：**
行動強化のためのマルチステークホルダープラットフォームの新設等
- **アジア開発銀行（ADB）：**
海プラ対策に協調融資を含め50億ドル（5,500億円）
- **海ごみナレッジセンターをERIAに年内開設**

国民運動・普及啓発

プラスチック・スマート

- **プラスチック・スマート：**
SNS等を活用し、多様な主体の“プラスチックとの賢い付き合い方”を国内外に発信
- **プラスチック・スマート・フォーラム：**
様々な団体の対話・交流を促進
- **海ごみゼロウィーク：**
日本財団と連携した海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃アクション（全国1300か所、50万人動員）
- **海ごみゼロアワード：**
優れた海洋ごみ対策の取組を募集・選定し表彰、世界に発信

海洋プラスチック官民イノベーション協力体制

- **海洋プラスチック官民イノベーション協力体制：**
世界の海洋プラ問題解決貢献のため、代替素材開発等の革新的取組を行っている我が国の企業等の協力体制を構築



5月16日 東京理科大学・二瓶教授および片岡助教、
海洋研究開発機構との意見交換

1. 廃棄物処理の支援

我が国の優れた廃棄物処理・リサイクル技術と制度をパッケージとして提供

二国間協力

【ベトナム】3 R・廃棄物処理に係る法令作成支援

【フィリピン】廃棄物発電施設導入ガイドライン策定支援等

【モザンビーク】土地・環境・農村開発省と都市廃棄物分野における協力覚書

【ミャンマー】ヤンゴン市でJCM資金支援事業による廃棄物焼却発電施設の設計・建設・焼却炉（60 t/日処理規模）が2017年4月に竣工。

【マレーシア】廃棄物発電技術ガイドラインの作成支援

【インドネシア】廃棄物発電導入支援プログラム



ヤンゴン市の廃棄物処理施設
(JCMにより支援)

多国間協力

【アジア太平洋3 R 推進フォーラム】

・第9回会合：2019年3月4日～6日@バンコク

・アジア諸国・太平洋島嶼国等約40か国の大臣・副大臣級、国際機関及び援助機関など500名程度が参加



【アフリカのきれいな街プラットフォーム】

・環境省・JICA・国連機関が2017年に設立し、知見の共有や能力開発等を行っている

・2019年に採択されたACCP横浜行動指針を踏まえ、アフリカでの現地研修やモデルプロジェクトを推進する

2. 科学的知見の収集・共有、モニタリング等の能力向上（ソフト支援）

【ASEAN+3海洋プラスチックごみ協力アクション・イニシアティブ】

① 3R及び廃棄物処理の推進

- ・ 廃棄物処理システムの能力開発
- ・ アジア太平洋3R推進フォーラム等による知見の共有等

② 海洋ごみに関する意識啓発、研究等の推進

- ・ 自治体や企業，市民の意識啓発
- ・ 調和化された手法の導入を含む海洋ごみモニタリング能力の強化
- ・ 海洋ごみの分布等の科学的知見の収集
- ・ 各国政府の活動，研究開発等に関する知見の共有

③ 地域・国際協力の強化

- ・ ナレッジハブの創設
 - ※東アジア・ASEAN経済研究センター（E R I A）に設置予定
- ・ ASEAN諸国の国別行動計画の策定支援



海洋ごみの及ぼす
様々な影響

船舶航行

海洋環境

沿岸居住環境

観光・漁業

国内外問わず様々な地域からご
みが漂着（漂着地に責任無し）

漂着地のみの努力
では解決困難

海岸漂着物処理推進法が議員立法により成立（平成21年7月）
第29条 政府は、海岸漂着物対策を推進するために必要な財政上の措置を講じなければならない。

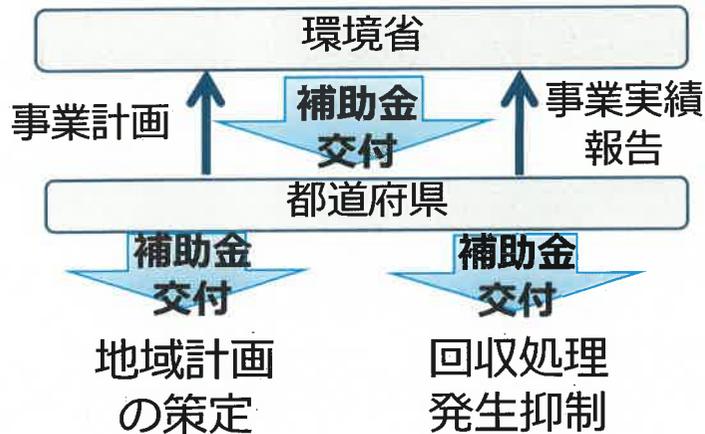
海岸漂着物等地域対策推進事業

地方公共団体が実施する海岸漂着物等及び漂流・海底ごみの回収・処理に係る事業、発生抑制対策に係る事業等に対し、補助金で支援。

補助率：7～9/10）平成21年度～

地方負担に対する特別交付税措置 80%

※北朝鮮籍とみられる漂着木造船等の処理の場合、
補助率：8.5～9.5/10で地方負担に対する特別交付税措置100%

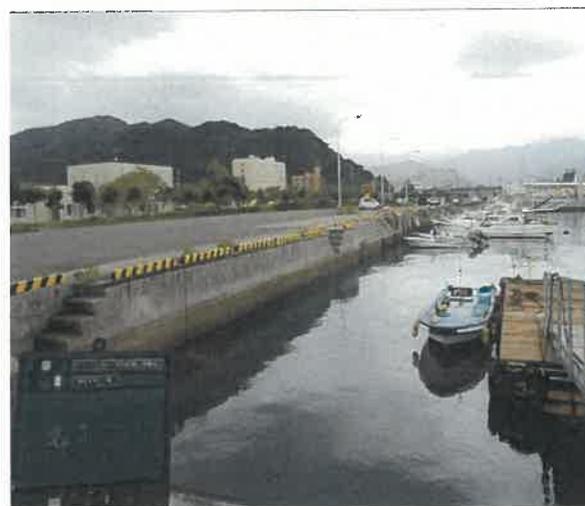


重機やボランティアによるごみの回収処理活動

(before)



(after)



海洋プラスチック汚染ゼロに向けた4つの対策

各省庁・業界団体・企業・自治体・NGOなどの幅広い主体から、海洋プラスチック問題の解決に貢献する**“プラスチックとの賢い付き合い方”**を募集します。

◎無駄な使用を減らす

- ✓ 軽量化・薄肉化
- ✓ 代替素材
- ✓ マイボトル・マイバッグ
- ✓ シェアリング

◎使用後は適正処理をする

- ✓ 分別・選別
- ✓ 再生プラの活用
PET Bottle to Bottle

個人・消費者
業界団体・企業
各省庁・都道府県・市区町村
NGO・NPO 等

◎処理から漏れたら回収する

- ✓ 清掃活動
街なか、河川、海岸 等
- ✓ アダプト・プログラム

◎回収できなくても溶ける

- ✓ 生分解性プラスチック
- ✓ バイオプラスチック

これら活動に対する啓発イベントやメディアキャンペーン、海外支援などの取組も募集

プラスチックと賢く付き合う「プラスチックスマート」



“プラスチックとの賢い付き合い方” **「プラスチック・スマート」**を展開。

- **キャンペーン**： unnecessary ワンウェイプラスチックの抑制や代替品の開発・利用などに自ら取り組み、SNSなどを通じて全国に拡散。628団体866件の取組が登録。
- **フォーラム**： 消費者・自治体・NGO・企業の対話・交流を促進。参加387団体

キャンペーン

● プラスマ特設サイト

「#プラスチックスマート」で **取組事例募集中**
取組アイデアをシェアして下さい! Check!!



for Sustainable Ocean



- SNS発信
(#プラスチックスマート)

フォーラム

対話・交流を活性化

第一回意見交換会（2019年4月25日）
119名の会員が参加

地方公共団体

NGO・
NPO

研究機関等

企業・
業界団体

環境省

連携

日本財団との共同事業

● 海ごみゼロウィーク

- ・ 全国一斉清掃アクション
- ・ 2019年度実績：約50万人

● 海ごみゼロアワード

- ・ 優れた海ごみ対策を募集
- ・ 応募活動事例：254件



● 海ごみゼロ国際シンポジウム

- ・ わが国の取組等を国内外に発信
- ・ G20を捉えた6月17日に開催
- ・ 約300人が参加



革新的プラスチック代替素材技術（海洋生分解性プラスチック、植物由来プラスチック、セルロース、紙等）の開発を強力に支援する。

脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業：19年度35億、20年度要求50億

① 海洋生分解性プラスチック

我が国独自技術を用いた植物由来の海洋生分解プラスチック製造の実証



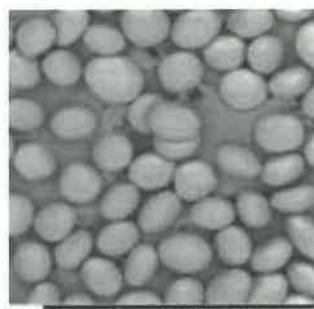
② 植物由来プラスチック

我が国独自の植物由来プラスチック製造技術を生かした新規樹脂



③ セルロース

我が国が世界シェア7割のセロファン製造技術を用いたセルロース系マイクロビーズ



④ 紙

世界的規模を誇る我が国製紙産業による機能性紙容器

